

にこにこ新聞 <南エリア>

2022年1月号

トーマと日本はオアシスの「田舎」がおもてなすこと

あります。人工肛門は腸の端をお腹から出して、新しい便の出口“を造る手術になります。そのため、臭いが気になる、恥ずかしい、周囲に知られたくないという患者さんが多いです。悩みを相談できずに、皮膚がただれでいるのを我慢したり、好きだつた趣味を諦めてしまうこともあります。ストーマを造設したからといって、何かを我慢したり、あきらめたりする必要はありません。その人らしく、生き生きと生活ができるようサポートしたいと考えています。

市立貝塚病院では、皮膚・排泄ケア認定看護師による「ストーマ外来」を行っています。皮膚がただれでいる、相談するところ

ろがない、などのストーマに関する相談を受けています。一人で悩まずに、まずはお気軽にご相談下さい。市立貝塚病院外科外までお問合せください。

また、健診センターでは、消化器オプションで大腸カメラや血液検査を行うことができます。

*お問合せ、申し込みは市立貝塚病院健診センター予約窓口までお願いします。

貝塚市堀3丁目10-20
☎ 072(422)5865

はス は こと

はス

こと

こと